

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第1学年では観点別正答率において、3観点ともに目標値を上回った。領域別正答率では特に「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の分野で目標値を大きく上回っている。
- ・第2学年では観点別正答率において、2観点で目標値を上回った。領域別正答率では特に「話すこと・聞くこと」「情報の扱い方に関する事項」の分野で目標値を大きく上回っている。
- ・第3学年では観点別正答率において、2観点で目標値を上回った。領域別正答率では特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」の分野で目標値を大きく上回っている。

(2) 課題

- ・第1学年では領域別正答率において、目標値を下回る分野はなかったが、内容別正答率において「文学的文章の内容を読み取る」「漢字を書く」が目標値に近い分野だった。文学的文章の読み取りにおいて、文章の展開と結び付けながら、表現の効果を考えることに課題がある。
- ・第2学年では領域別正答率において、「知識・技能」分野で目標値を下回った。内容別正答率でも「文法・語句に関する事項」で目標値を下回っているため、基本的な文法の定着や語句に関する知識を増やすことが求められる。
- ・第3学年では領域別正答率において、「話すこと・聞くこと」の領域で目標値を下回る結果となった。スピーチや発表の場面を増やし、わかりやすく話したり、話を正確に聴き取る力をつけることが求められる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	教科の正答率として全体的に目標値を上回っている。特に書くことの領域において高い正答率であった。	/	/
第2学年	教科の正答率としては「知識・技能」観点を除き、目標値を上回っている。書く能力の領域について高い正答率であった。	教科の正答率として全体的に目標値を上回っている。特に読む能力の領域において高い正答率であった。	/
第3学年	教科の正答率として全体的に目標値を上回っている。特に我が国の言語文化に関する事項の領域において高い正答率であった。	教科の正答率として全体的に目標値を上回っている。特に話すこと・聞くことの領域において高い正答率であった。	教科の正答率として、全体的に目標値を上回っている。特に、「説明文の内容を読み取る」の正答率が高い一方で、「話の内容を聞き取る」では目標値を下回った。

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回った。小学校で学習した漢字の読み書き委および文法・語句に関する事項に課題が見られる。	目標値を上回った。「書くこと」の正答率が高かった。文学的文章の問題では、場面ごとに登場人物の言動や心情を捉えることに課題がある。	目標値を上回った。自分の考えやその理由を明確にして書こうという意欲が見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回った。文法・語句に関する事項や漢字を書くという項目で課題が見られる。	目標値を上回っている。特に書くことに関する問題では、「新聞を書く」という問題において適切に書くことができた。	目標値を上回っている。話の内容を正確に聞き取ろうとしたり、自分の考えを明確に書こうとしたりする意欲が見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。特に漢字を読む問題は目標値を大きく上回っており、基本的な知識の定着が見られる。	目標値を上回っている。特に読むことに関する問題では文学的文章の問題が大きく目標値を上回っており、登場人物の言動や心情を捉えることができた。	目標値を下回っている。話の内容を正確に聴き取ることに対して、課題見られる。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きについて、練習の継続やテストでの定着を図る。語句に関しては辞書を使った意味調べや短文づくりを通して、使用語彙力の向上を図る。文法に関しては、ドリルパークを使って反復練習をさせ、定着を図る。	「読むこと」では、「場面」に対する意識づけを行うとともに、場面ごとに登場人物の心情を想像させる時間を確保し、描写を基に心情を捉える力を養う。「書くこと」では、段落構成や表記の仕方への意識を高めさせるために、生徒同士で添削し合う機会を設ける。	単元ごとに振り返りの時間を十分に確保し、ねらいに沿った振り返りができているかを確認し、学習の質の向上を図る。既習事項との関連を示し、成長を感じられるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法・語句に関する事項について、小テストを行うなどして基礎的な文法事項の定着を図る。また、漢字の小テストを継続して行い、日常的な漢字練習の場面を設ける。読書活動や音読練習などを通して、活字に親しむ。	「読むこと」では、文学的文章を読むにあたって、人物の心情描写の表現されているところを正確に読み取らせる。「書くこと」では、読み取った内容を理解して書けるように要約やリライトの課題を通して指導する。	各単元で振り返りを行い、単元を通してどのような力がついたのかをワークシートを用いて自分で振り返る。また、適切な場面でICT機器を活用し、授業理解の一助とする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の小テストを定期的に行うなどして、引き続き基礎的な知識の定着を図る。また、語句を調べる活動を取り入れ、より豊富な語彙の定着を目指す。	「読む」の領域においては説明的文章の文章全体と部分の関係に着目させながら読み進めるよう指導する。「書く」の領域においては読み取った内容を正確に書けるように、文章の内容を捉えて自分の意見をまとめたものを添削して個別に指導する。	単元の最後に振り返りを行い、単元を通して身についた力を考えることで、授業のねらいをしっかりとらえさせる。また、ICT機器を効果的に用いることで、より深い授業理解につなげていく。